



木全 滋先生 略歴

- 1956年7月 愛知県稲沢市に生まれる
- 学 歴**
- 1980年3月 静岡大学人文学部卒業
1981年3月 静岡大学人文学部研究生修了
1984年3月 東京外国語大学大学院外国語学研究所修士課程(ゲルマン系言語専攻)修了
- 職 歴**
- 1982年10月 私立城北高等学校非常勤講師 (1985年3月まで)
1985年2月 福島大学経済学部講師 (1988年3月まで)
1988年4月 福島大学経済学部助教授 (1990年8月まで)
1990年10月 愛知県立女子短期大学英文学科講師兼愛知県立大学文学部講師 (1993年9月まで)
1993年10月 愛知県立女子短期大学英文学科助教授兼愛知県立大学文学部助教授 (1995年3月まで)
1995年4月 愛知県立大学文学部助教授兼愛知県立女子短期大学英文学科助教授 (2001年3月まで)
1996年10月 在外研究 (アメリカ Pomona College) (1997年9月まで)
2001年4月 愛知県立大学文学部助教授
2009年4月 愛知県立大学外国語学部准教授兼旧愛知県立大学准教授兼県立看護大学准教授

2009年10月 愛知県立大学外国語学部教授
2022年3月 愛知県立大学外国語学部定年退職

研究業績（著書・学術論文など）

著書

- 『ホイットマンと19世紀アメリカ』吉崎邦子、溝口健二編（共著）開文社 2005
担当部分：「ホイットマンと骨相学」 pp. 119-139
「ホイットマンの夜への賛歌—「眠る人びと」を読む—」 pp. 205-228

学術論文

- 「エマソンの宇宙観」（単著）
The Quiet Hill（静岡大学英文学会）第10号、pp. 13-23 1984
- 「文明と自然の境界—ハート・クレインを中心に—」（単著）
『言語文化研究』（東京外国語大学大学院外国語学研究科言語・文化研究会）
第3号、pp. 1-8 1985
- 「ハロルド・ブルームの方法とハート・クレインの『航海』」（単著）
『商学論集』（福島大学経済学会）第55巻第1号、pp. 1-22 1986
- 「叙事詩への道」（単著）
『愛知県立大学文学部論集』（英文学科編）第40号、pp. 53-65 1992
- 「ホイットマンとハート・クレインにおける『流れ』のイメージ」（単著）
RANDOM（東京外国語大学大学院英語英文学研究会）第17号、pp. 81-92 1992
- 「ホイットマンにおける海の変容」（単著）
『愛知県立大学文学部論集』（英文学科編）第41号、pp. 61-72 1993
- 「Hart Crane: その機械の美学について」（単著）
Mulberry（愛知県立大学英文学科論集）第42号、pp. 23-35 1993
- 「夜への賛歌」（単著）
Mulberry 第44号、pp. 1-12 1995
- 「ホイットマンとハート・クレインにおける「手」のモチーフ」（単著）
『愛知県立大学文学部論集』（英文学科編）第44号、pp. 77-88 1995
- 「説得のレトリッカー Whitman と Thoreau の表現の一特徴について—」（単著）
Mulberry 第47号、pp. 17-29 1998
- 「Whitman の周縁性」（単著）
Mulberry 第48号、pp. 33-43 1999

- 「18、19世紀英米文学における「共感」—19世紀アメリカ文学理解の一助として—
(単著)
Mulberry 第51号、pp. 51-63 2002
- 「神経、感受性、共感と19世紀アメリカ文学」(単著)
Mulberry 第52号、pp. 47-61 2003
- 「やわらかで、天使のような生きもの—Whitmanと19世紀ブルジョア女性—」(単著)
Mulberry 第53号、pp. 51-64 2004
- 「Whitmanと19世紀ニューヨークの労働者たち」(単著)
『愛知県立大学文学部論集』(英文学科編) 第55号、pp. 11-24 2007
- 「『第18期大統領職!』とジャクソニアン・デモクラシー」(単著)
Mulberry 第57号、pp. 23-34 2008
- 「*Drum-Taps* 再読」(単著)
Mulberry 第58号、pp. 35-49 2009
- 「19世紀アメリカの文学者たちとヨーロッパ」(単著)
Mulberry (愛知県立大学英米学科論集) 第59号、pp. 13-28 2010
- 「ホイットマン、フラー、メルヴィルと1840年代アメリカ」(単著)
Mulberry 第61号、pp. 1-21 2012
- 「ホイットマンの「復活」と二月革命」(単著)
Mulberry 第64号、pp. 1-17 2015
- 「ホイットマンにおける労働者と労働運動」(単著)
『ホイットマン研究論叢』(日本ホイットマン協会) 第34号、pp. 1-16 2018
- 「ホイットマンの労働観」(単著)
『ホイットマン研究論叢』 第35号、pp. 1-17 2019
- 口頭発表**
- 「ハート・クレイン 叙事詩への道」
日本アメリカ文学会中部支部例会 1991
- 「ホイットマンとハート・クレインにおける『流れ』のイメージ」
日本英文学会中部地方支部第43回大会 1991
- 「受容と発見の詩—Denise Levertov について」
日本アメリカ文学会第32回全国大会 1993
- 「ホイットマンの都会詩」
日本英文学会中部地方支部第50回大会 1998
- 「Whitmanの vicarious imagination とその周辺」
日本アメリカ文学会中部支部例会 2002

- 「Emily Dickinson 読書会」 コメンテーター
日本アメリカ文学会中部支部例会 2003
- 「ホイットマンと骨相学」
天理大学アメリカス学会例会 2006
- 「晩年のホイットマンを読み直す」
日本ホイットマン協会第54回全国大会 2016
- 「ホイットマンと仕事—ホイットマンの労働観はどのように捉えられてきたか—」
日本ホイットマン協会第56回全国大会 2018
- 書評**
- 『記憶の宿る場所—エズラ・パウンドと20世紀の詩』
『中部アメリカ文学』第10号、pp. 31-33 2007
- 『ウォルト・ホイットマン—架け橋のアメリカ詩人』
『アメリカ文学研究』第44号、pp. 108-113 2008
- その他**
- 「マシーン・エイジと Hart Crane」(単著)
『商学論集』第58巻第3号、pp. 57-65 1990
- 「‘Pleasures’ —ささやかな喜びの発見」(〈訳注式〉英語詩演習 (46)) (単著)
『英語青年』151巻10号、pp. 38-39 2006
- 「ホイットマンと骨相学」(単著)
『天理大学アメリカス学会ニューズレター』55号、pp. 9-10 2006
- 所属学会、学会活動**
- 日本英文学会、『中部英文学』編集委員 (2009年~12年)
日本アメリカ文学会、『中部アメリカ文学』編集委員 (2005年~06年、2007年編集委員長、2013年~14年)
日本ホイットマン協会